

親水空間の整備・創出

事例名	5. 親水施工
工事名	頓泊海岸環境整備工事
施行場所	五島市玉之浦町頓泊
事業年度	平成7年度～9年度
実施機関	五島支庁
適応可能な事業	海岸

< 具体的な環境配慮内容 >

海岸護岸の整備において、階段工により海浜とのアクセスを向上させるとともに、養浜により生態系の保全を図った。

< 環境配慮の目的と視点 >

頓泊海岸は西海国立公園内にあり、福江島を代表する海水浴場として有名で、美しい海と白い砂浜を求め全国各地より集まる海水浴客等で賑わっている。しかしながら、既設護岸の天端高が低いため、台風及び冬期風浪時には背後地への越波被害が発生している状況であった。そこで背後地を越波被害等から守るための護岸工を施工するとともに、白砂や生態系の保全を含め、海浜へのアクセスとして階段工を設置し、自然との親しみに配慮した環境空間とした。

< 環境配慮技術の概要 >

護岸は法勾配1:1.5の石張式を基本構造とし、生態系及び景観に配慮した構造とした。また、海浜植物群落が形成されている箇所が存在し、海岸保全施設の整備によりその大部分が失われるため、これらの対応として、護岸の前面に養浜を施工し、海浜植物群落（ハマゴウ）が再生できるように配慮した。



整備実施前全景



整備実施後全景



石張式護岸と階段工



養浜施工箇所



植栽（アコウ、ヤブツバキ）
及び養浜施工箇所



階段工施工箇所

< 環境配慮による効果 >



護岸工前面に養浜を施工し、ハマゴウ群落の再生を図っている。
挿し木が根付いて成長しているが、本来の群落の形状を取り戻すにはあと数年必要かと思われる。

< 課題等 >

護岸周辺には景観及び利用を考慮した植栽が行われているが、維持管理が不十分であるため、生育が悪い状況にある。

< 同技術を採用した他の事例 >

工事名称	実施機関
栗岳海岸環境整備工事	壱岐支庁